

丘まちづくりだより

編集発行:丘地区まちづくり協議会

連絡先:丘まちづくりセンター TEL71-3961

丘さくらまつり

「丘さくらまつり」は桜見物・花見会の代名詞となっていました。令和二年新型コロナウイルスにより感染が拡大して中止になってしまいました。以来四年の空白を経て令和六年四月、待望の再開にこぎつけました。内容的には以前と同じようには出来ませんが、桜見物・花見会の考え方は踏襲した「丘さくらまつり」を実施致します。食べ物、飲み物はスポーツ公園に設置した各種キッチンカー等で調達し、桜の下の町内さじき席で、舞台を中心に繰り広げられる演芸を楽しみながら町内や地域の仲間たちと歓談し、人と人がつながり合える楽しい「丘さくらまつり」にしていきましょう。



△前回(平成31年度)の丘さくらまつり

4/7(日)
厚原スポーツ公園
西側グラウンド



ワークショップも開催します。みんな遊びに来てね！

今回の「丘さくらまつり」は当日携わる役員をできるだけ少なくする事と衛生面で飲食物はキッチンカーを利用することにしました。焼きそば・フランクフルト・からあげ・たこ焼き・メロンパン・焼き芋など有料ではありますが人気のある食べ物をお待ちしています。桜と一緒に楽しみましょう。

キッチンカー

通信員だより 各地のニュース

末広町

地域防災訓練

十二月三日（日）の末広町防災訓練では、四年ぶりに全体訓練を公会堂で実施しました。

AED講習会では、AEDの使い方や正月に向けて、のどに餅を詰まらせた場合の対処法などを学びました。また、水消火器を使用した訓練などを行いました。可搬式ポンプでの放水訓練では、ポンプが故障するハプニングがありました。これも訓練の成果だと思っています。



△水消火器訓練



△AED講習

どんど焼き

一月十四日（日）に毎年恒例のどんど焼きを行いました。町内の竹を頂いてそれを組み立て、各家庭から正月飾りやだるまを持ち寄り飾っていききました。

新しい年の五穀豊穡、家内安全を祈り、三本檜で団子も焼いたり、楽しい時間を過ごすごができました。町内各戸面整理途中のため、これから会場探しが大変ですが続けていければと思っています。



△どんど焼き

小学校への登校風景

末広町の一部が区画整理となり、転入してくる方が増えてきました。勿論小学生や幼児も増え、町内には子供たちの声があふれるようになりました。最近では、パパやママ、時にはじいじも時間に余裕があるときは一緒に登校してくれています。末広版「みまもり隊」かもしれません。



△登校風景

厚原東3

子ども会芋ほり

十月七日

地域の方のご厚意で畑をお借りして春にはサツマイモの苗を植え、秋には子供会みんなで芋ほりをしました。



△芋掘り



普通救命講習会

十月二十五

消防二十二分団の指導のもと、緊急時の心肺蘇生法、AEDの使い方、人形や実際のAEDを使い、町内の救護班のメンバーに三時間しっかり講習を行いました。



△普通救命講習会



子ども会クリスマス会

十二月九日

小学校六年生が司会や進行を行い、下級生たちが楽しめるように様々なプログラムを行いました。バルーンアートや賞品をかけたジャンケン大会も盛り上がりしました。



△クリスマス会



厚原南 クリスマス会

流行病が心配される中、無事クリスマス会（子ども会）を開催することができました。子供達は久しぶりの友達との再会を大いに楽しんでいました。



△クリスマス会

厚原東2 手芸教室

八月三日、夏休み中の子供達が集まり紙バンドによる手芸教室が開催されました。好評につき、七月二十五日に続き二回目の開催です。講師は三班にお住まいの諸星さん。講師免許をお持ちで、二十年ほど前に老人会イベントから口コミで拡がり大人気。遠くは静岡市方面まで出向かれ、公会堂などで教室を開き、紙のまち富士市のアピールにも貢献されています。干支などの小物から大型のバックまで、廃材や異素材を組み合わせたリ、持ち前のアイデアとセンスでその作品は多彩。「自宅は作品でいっぱい、すぐに皆にあげちゃう。」と、気さくで素敵な笑顔が溢れていました。



△手芸教室



傘木 おひまち

令和元年十月以来の傘木浅間神社祭典が四年ぶりに十月七日（土）～八日（日）に行われました。

子ども会によるお神輿練り歩きや毎回好評の焼鳥・綿菓子等の模擬店、最後には大抽選会で大変盛り上がりしました。



△お神輿



△子ども会



△抽選会



△模擬店

地区の人紹介



△居合術

傘木町内にお住いの大木喜好（きよし）さんを紹介します。大木さんは居合術を趣味にしています。流派は富士浅間眞流で富士宮浅間大社を起源に三百年続いているそうです。昨年十月に行われた傘木神社祭典におきまして真剣を使った居合術を披露して頂きました。「今後も日々精進していきまします」と、力強く語って頂きました。



△目課の散歩

「人生百年時代」

愛犬と健康のために毎日朝晩散歩する傘木北の迫尾さん（七十代）。

町内のみなさんとのコミュニケーションも楽しんでいきます。背筋もピンとしてとても素敵です。

スポーツフェスティバル

丘地区スポーツフェスティバルは九月二十四日（日）晴天の下に、丘小グラウンドにて行われました。

コロナウイルス感染拡大に伴い、大勢の皆様が一同に集う体育祭が出来ませんでした。体育祭の実施に向け、従来型の体育祭の検討をしましたが、地域の皆様の参加のしやすさを考え、個人参加型の種目に変更、実施しました。内容は町内からのご協力を頂くなど、オール丘の体制で、モルック、サッカーPK、輪投げなど六種目を行い、参加された延べ四百名の皆様には、沢山の景品と思い出を持ち帰って頂きました。



△開会式

丘地区文化祭



△バザー



△出展作品

令和五年度の『丘地区文化祭』は丘小体育館の改修のため、昨年同様丘まちづくりセンターを会場に実施されました。展示中心の内容でしたが、地区内の保育園、幼稚園、丘小学校からの作品の展示の他、盆栽・似顔絵や丘まちづくりセンターで活動中の皆様からの出展がありました。更に町内会連合会・丘地区福祉推進会が中心で出店した「バザー」も行われ、四百名を超える方のご来場を頂き大盛況でした。

令和六年度は改修工事の終了した丘小体育館を会場にした丘地区の文化の祭典を盛大に開催できるように準備を進めたいと思います。

あるけあるけ大集会

【趣旨】安全で安心な住みよいまちづくりを進めるため、地域住民の人のつながりを深め、「あいさつから始めて笑顔をつくろう 元気な丘」を目指す。

【行事概要】各町内の参加者は各公会堂に集合し、交通安全の「のぼり旗」を掲げながら歩いて厚原スポーツ公園西側広場に集合しました。

丘地区在住の森田正都副市長をはじめ、多くのご来賓の方のご出席と、各町内会から多くの住民の参加で式典が開催されました。

体験発表では急遽変更となった丘小六年生の小野寺則音さんをはじめ、岳陽中二年生の大木龍輝さん、後藤風さんが貴重な素晴らしい体験発表をされました。そして、丘地区みまもり隊の委嘱式で遠藤清嗣会長から代表者に委嘱状が渡されました。

また、交通安全協会丘分会からのお願いと情報提供がありました。



△あるけあるけ大集会

体験発表の様子

式典終了後、「お待ちかね恒例の（美味しいお米が当たる）高確率の大抽選会」が大に行われ、笑顔の流れ解散でした。
：また来年をお楽しみに：
また逢う日まで♪逢える時まで♪元気でいって〜ね♪



△後藤風さん



△大木龍輝さん



△小野寺則音さん

まち協安全部会
YouTube ch

横断歩道を渡る時は横断旗を持つと良いですね。

白熱した議論がつづきます

QRコードから入れます！
ご覧ください♪

福祉推進會

《ひとり暮らし高齢者訪問》

私達、福祉推進委員は、毎年十二月三十一日にひとり暮らしの高齢者へおせち料理をお届けしています。当日はあいにくの雨でしたが、民生委員の方と一緒に訪問し直接お渡しすることができました。皆さんお変わりなく待っていて下さり「ありがとう」「楽しみにしていたの」「寒いお年を」と等とお話してきました。とてもお元気で喜んで下さいました。昨年よりもひとり暮らしの高齢者が増えている中、私達が少しでもお役に立てる様心配りや声掛けをしていきたいと思えます。そして皆さんから信頼される様になつと続けていく事が大事だと思えました。



△高齢者のお宅訪問

悠容クラブ



△フルーツパークでの昼食

私達は、高齢者から「幸せ」を作り、お達者度を延ばし生き生きと幸せな虹色の余生を過ごす会です。

本年度ウオーキング大会は、修善寺虹の郷で行いました。丘は十一月に参加しました。写真はコスプレチームにより、ウエルカム歓迎を受けてご機嫌な仲間と、昼食（フルーツパーク）で、エビ入りの釜飯御膳と分厚いアジフライを楽しんだ様子です。その他輪投げ大会、歌の祭典、グラウンドゴルフ大会、ゲームで遊ぶ、演芸大会、お花見研修旅行、サクラランボ狩り等々楽しい行事も実施しました。

丘小能登半島地震義援金

丘小は能登半島地震の義援金として児童や保護者、地域住民から募金を集め、33万6528円の寄付を行いました。



義援金を渡す6年生
 (左から) 渡邊 網那さん
 松村 羽流さん 渡邊 旬さん
 村瀬 斗亜さん 一杉 涼羽さん
 小林 悠生さん

入会希望者は、福祉総務課悠容クラブ事務局(55-2754)か、松永(71-4664、090-7040-4223)に連絡下さい。我が会は、来るもの拒まず去るもの追わず「飲んで歌って笑って遊ぶ」会です。



△コスプレチームからの歓迎

高齢者いきいきサロン

人生の先輩達がいきいきと生活を送っていくためには、体の健康は勿論ですが心の豊かさを保つことも大切なことです。近所の仲間たちと集い、お茶を飲みながら日常のよもやま話や思い出話で大いに笑い、そして懐かしい歌や愛唱歌を歌って体も心もリフレッシュ。時にはボランテイアの方々の手品やかくし芸などでとても楽しい時間を過ごしています。月一回、公会堂での集いをサロンの仲間たちは楽しみにしています。あなたも気軽に参加してみませんか？

紹介 すみれ会 (傘木)
 おひさま (厚原東3)
 おひさまのたね (厚原北2)
 茶話会 (厚原中)



▽おひさま △すみれ会



ふきのとう丘

私たち「ふきのとう丘」は丘地区の地域ボランティアグループです。五十代から七十代のアクティブなおばさんたちで現在十六名の会員がいます。活動としては、施設奉仕（障害者施設・老人ホームの草取り、清掃、花植え等）、厚原スポーツ公園花壇の花植え及び管理、丘地区イベント行事のお手伝い、富士山女子駅伝交通ボランティアにも協力しています。地域からのニーズがあれば出来る限りお役に立ちたいと思っています。無理せず楽しくをモットーに活動しています。



△厚原スポーツ公園での活動

丘の道歩いてみれば

《丘地区の史跡を訪ねて》

昭和五十九年、当時丘小学校に赴任されていた加藤昭夫先生が丘地区の郷土史として「丘の道歩いてみれば」を発売されました。この土地の祖先が生活の中で守り、守られてきた史話や史跡を振り返って訪ねてみることで丘地区を好きになっていくことに繋がるとの思いで、今後「丘の道歩いてみれば」からシリーズとして掲載していきます。

六地藏



△お堂外観



△六地藏

お堂の中に奉られている。一体の石柱に六体彫つてある六面地藏である。伝法用水を作り、土地の開発に尽くした人々を祀つたなどと言われている。今でも定期的に「講」が行われている。

(吉原自動車学校の北側交差点)

道祖神・碑

明治の中頃に建立され、俵の形に似ているので俵石と呼ばれていた。右側の碑は、江戸の中期に建立され、その理由は不明だが正面に「釈迦牟尼仏」と観音経が刻まれている。道祖神：外部から入り込む悪霊や悪疫をさえぎる為に、村の境や辻に建立される。(片宿町公会堂の西側)



観音経

彼音意 同世終 重親無 我為答 我名偈 ...
具緣尊 相妙相 相因妙 相何妙 妙何相 妙何相 妙何相 妙何相
世尊 佛子 具足 妙相 具足 妙相 具足 妙相 具足 妙相

腰かけ石・がっかり橋

鎌倉時代、源頼朝による富士のまき狩りが行われた。そこで有名な曾我兄弟の仇討ち事件があり、兄の曾我十郎の愛人であった虎御前が十郎の死にがっかりして、傍らの石に腰を掛けたと言われ、その名前が残っている。(東一丁目・大木工業所の南東側)



△腰掛石

編集後記

第8号丘まちづくりだよりは一面のさくらまつり復活予告を皮切りに、通信員から届いた町内の行事や各団体の活動紹介などとても賑やかな内容となっております。コロナ禍からの脱却が紙面からも見て取れることと思います。

今後ますます活発な活動になっていくことが予想される中で、丘地区のタイムリーな出来事を発信していただける「インスタ係」を募集します。気になる方は丘まちづくりセンターまでお気軽にご連絡下さい。

【丘地区の人口・世帯数】

〔令和5年1月1日現在〕

男 6,803人 女 6,958人
計 13,761人 (うち外国人307人)
世帯数 5,834世帯

〔令和6年1月1日現在〕

男 6,800人 女 6,991人
計 13,791人 (うち外国人376人)
世帯数 5,937世帯

編集委員

- ・遠藤清嗣
- ・福村幸郎
- ・橋本充
- ・佐野淑昭
- ・澤山常清
- ・山崎寛章(編集サポート)

表紙写真：佐野淑昭